

補 足 資 料

用語の定義と解説

本計画における用語の定義と解説を以下に示します。

長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるために、耐用年数を延ばすこと。	
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため建物設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。	
新築	更地に新たに建物を建設すること。	
増築	既存建物の床面積を新たに増やすこと。	
改築	既存の建物や設備を新しく改めること。「建て替え」と同義語である。	
改修	経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。	
	修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
	耐震改修	現行の耐震基準を満足しない建物に対し補強を施し、耐震基準を満たす工事を行うこと。
	大規模改修	国庫補助事業の対象となる大規模な改修を示す。外部においては屋根か外壁（外部建具含む）の全面改修、内部においては床面積の50%以上を改修する。また近年は、設備機器更新の割合も大きくなってきている。建物の表面部分の経年劣化による改修を行うことを主な目的とする。
	長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。躯体や構造部の寿命を延ばす改修を行うことを主な目的とする。
インクルーシブ教育	障害のある子どもを含むすべての子どもに対して、子ども一人ひとり教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行う教育のこと。	

ICT 教育	情報通信技術（Information and Communication Technology）とは通信技術を活用したコミュニケーションを意味する。ICT 教育とは情報通信技術を教育方法のひとつとして利・活用した教育のこと。
コンクリート 圧縮強度試験 (コア抜き調査)	コンクリートの試供体（コア）に徐々に圧力をかけ、試供体が破壊される限界点を調べる試験。対象となるコンクリート材料の圧縮力に対する強度を調べる。既存建物の圧縮強度を調べる時は、既存建物の躯体から試供体（コア）を抜き取り試験を行う。
コンクリートの 中性化	コンクリートは硬化直後、強いアルカリ性を有しているが、経年により pH 値が低下し弱アルカリ性となり中性となる。コンクリートのアルカリ性で鉄筋を保護しているが、経年による空気中の炭酸ガスの浸透により、表面から中性化が進行し鉄筋の発錆の原因となる。
N（ニュートン）	国際単位系（SI）における力を表す単位。1N は 1kg の質量を持つ物体に 1m/s^2 の加速度を生じさせる力。
RC 造	鉄筋コンクリート（Reinforced Concrete）造の略。主要構造部を、主に鉄筋とコンクリートで構成している構造物のこと。
S 造	鉄骨（Steel）造の略。主要構造部を、主に鉄骨で構成している構造物のこと。
構造部材	柱、梁、床、基礎等、建物の構造を直接支える部材を示す。
非構造部材	構造部材ではなく天井材や外装材等、建物の構造を直接支えていない部材を示す。
ユニバーサル デザイン	文化・言語・国籍・年齢・性別・能力・状況などに関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用できることを目指したデザインを示す。
バリアフリー	利用に際し、身体や能力などの違いによる障害（バリア）を取り除くことを示す。ユニバーサルデザインの一部ともいえるが、利用者を限定している点が異なる。